

( トピック型 ) プログラム 活動(ユニット)案 「友達と遊ぶ」

プログラム名 : トピック型日本語プログラム	
授業名	友達と遊ぶ
対象児童・生徒	( ◎ ) 小低 ( ○ ) 小中 ( ○ ) 小高 ( ○ ) 中学生 ◎ : 主たる対象 ○ : 対象
時間	( 20 ) 分 × ( 1 ) 回
形態	(○) 少人数グループ (○) 個別
日本語の力 (ことばの力のものさしで)	・身近な物や出来事についての簡潔な質問に、主に単語で答えることができる。(聞く・話す)
	・ひらがなを概ね読んだり、書いたりすることができる。(読む・書く)
	[聞く・話す] ステップ1 [読む] ステップ1 [書く] ステップ1
	[聞く・話す] ステージC [読む] ステージC [書く] ステージC
目標 (Can-do)	・遊具や遊び名を知り、友達を遊びに誘ったり、誘われたときに返事をしたりすることができる。
既習事項	
語彙・表現	<p>語彙 (太字を目標とし、他は紹介程度とする)</p> <p>・遊具や遊びの名前 (おにごっこ、すべりだい、おしゃべり、ブランコ、ジャングルジム、じゃんけんなど)</p>
	<p>表現</p> <p>・一緒に遊ぼう、～しよう ・いいよ、ごめん、またね</p>
コア日本語 (文型・文法/語彙)	動詞・意志形：しよう、あそぼう、(グラウンドに) 行こう、(教室に) もどろう
主な活動	<p>学習活動</p> <p>遊びや遊具の名前を知り、遊びに誘うやりとりをする。</p>
	<p>学習方略</p> <p>・遊び道具 (実物) や写真遊びのジェスチャーを伴わせて、遊び名を覚える。 ・友達と遊び誘う場面を関連付けてイメージして、発話を繰り返す。</p>
実施上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び名は、対象の子どもの好きなことを取り上げる。</li> <li>・動詞意志形は、活用ルールには触れず、表現としてそのまま学ばせる。</li> </ul>
アイデア	<p>&lt;児童生徒の多様性への対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の場合は、遊びではなく、その生徒が友達やクラスメイトと一緒に行動する事柄で、誘う・誘われるやりとりをする。例えば「練習しよう」「勉強しよう」「掃除しよう」「行こう」「帰ろう」「話そう」など。</li> <li>・小学校高学年以上で、動詞の活用の学習が可能であれば、動詞の意向形の作り方の活用ルールについても紹介・練習する。</li> </ul>
	<p>&lt;他のプログラム・教科との関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トピック型の「目標と振り返り」「夏休み」の活動で、計画・予定として、「意向形+と思います」という表現に発展させることができる。</li> <li>・技能・タスク型の「手紙のやりとり」や「委員会のポスター作成」の活動で、書きことばとして、友達や周囲の仲間を誘う表現の学習に発展させることができる。</li> </ul>


◎教材のヒント 友達を遊びに誘う場面の動画

NHK for school 「なかまにいれて」(幼保小1向け特活番組『で~きた』より)

[https://edu.web.nhk/school/watch/bangumi/?das\\_id=D0005170182\\_00000](https://edu.web.nhk/school/watch/bangumi/?das_id=D0005170182_00000)

今回の授業案では取り上げていないが、すでに友達が遊んでいるところに入って行く場面を動画で見ることができる。この動画に出てくる「なかまにいれて」という表現も学校生活では頻出の重要語句である。また、新しい友達と遊ぶ時には自分から名乗るといいよ、ということも紹介されている。転編入してきたばかりの子どもたちにぴったりの内容である。シーン 10 だけの視聴でもよい。動画を見る環境がなければ、上記のサイトに教材・資料もあり、印刷して使用することもできる。

## 活動案 【友達と遊ぶ】

本時の目標 遊具や遊び名を知り、友達を遊びに誘ったり、誘われたときに返事をしたりすることができる。			
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
5分	導入 1 写真やイラストを見て、遊具や遊びの名前を知る。  ・遊び名をリピートする。  ・先生の真似をしながら、じゃんけんをする。	T：(遊具や遊びの写真やイラストを提示し) この遊びは、なんですか。 S：わからない。 T：おにごっこ、です。 S：おにごっこ。 … (最後に) T：これは、じゃんけん S：じゃんけん T：日本のじゃんけん。 「グー・チョキ・パー」。 さいしょは グー。 じゃんけん ぽん。 あいこで しょ。 S：(いっしょにじゃんけんをやってみる)	○対象児童がよく遊んでいる遊び道具、在籍校の遊具の写真やイラスト  ◇じゃんけんを実際にやってみせて、子どもにも真似してやってみよう促す。  
10分	展開 2 遊びに誘う・誘われるやり取りをする。  ・誘いに応じる。  ・自分から誘う。  ・誘いを断られる。  ・誘いを断る。  ・教室にもどる。	T：いっしょにあそぼう。 S：いいよ。 T：おにごっこしよう。／ブランコ／ジャングルジム／じゃんけん／すべりだい… S：いいよ。 T：グラウンドに行こう。 S：うん。  T：じゃあ、〇〇さんから、どうぞ。(上記と同様にやりとり)  S：いっしょにあそぼう。 T：ごめん。またね。(断られるパターン) S：またね。(別の子を誘う)  T：教室にもどろう S：うん。	◇子どもが友達に話しかけるイラストを示して、遊びの種類を入れ替えながら、誘いに応じる、誘う会話を繰り返し、活動を行う。  △学習者が複数いる場合は、学習者同士でも会話練習をする。  △断られる場合の会話も、立場を入れ替えて行う。
5分	まとめ 3 宿題が何か知る。	T：今日の宿題です。友達といっしょに遊んでください！おにごっこ、ブランコ、なんでもいいです。「いっしょにあそぼう」と言ってくださいね。	○次の時間の最初に誰と何をしたか聞く。
評価対象と方法		・活動2 遊びに誘ったり、誘いに応じたり(断ったり)することができたか。	